イベント・プロジェクト支援制度：B 型：選抜プロジェクト型

プロジェクト B　2026

可能性がたくさんある大学時代、
今しかできない、自分・仲間と考えた、とっておきの企画、
思い切って実現しましょう。

「プロジェクト B」は学生グループが考えた、ユニークで尖ったプロジェクトを、本気で実現するものです。
みなさんのやる気を支えるため、大学も本気で応援をします。皆さんの応募をお待ちしています！

- ✓ 自分の「やりたいこと」を形に！
- ✓ 3 人の仲間でチャレンジ可能！
- ✓ 気軽に相談しながら申請！

1. 対象プロジェクト

学生グループが発案した、ユニーク、かつ、突出した企画・プロジェクト

テーマは特に設けませんが、「国際社会で活躍するための異文化受容力・協働力を身につける」「正課での学びを活かす」「社会に貢献する」というキーワードに重なるもの、特に、社会課題について学外の人々とともに、また、学外の方を巻き込みながら取り組んでいるプロジェクトを積極的に採用します。

2. プロジェクト B での活動メリット

活動費補助

選抜プロジェクト	最大 50 万円

＊詳細は「7.活動資金について」を参照

大学の全面的なバックアップ

- ✓ 大学公式ホームページ・SNS 等での積極的な広報（マスコミ取材も多数実績有）
- ✓ 学内での施設・備品の優先予約や特別利用

スキルアップ・自分自身の向上

- ✓ 大学による研修やコンサルテーションにより、社会で通用するレベルのプランニング力・企画運営能力を身に付けることが可能。
- ✓ アイデアをカタチにする喜び、人を巻き込み一緒に作る楽しみ、これらの経験から得られる自分の成長を感じることができます！

3. 申請要件

必須要件

- ✓ メンバー３人以上（本学に在籍している学生）
- ✓ 2027 年春セメスター終了（2027 年 9 月 20 日）までに完了するプロジェクトであること
- ✓ 定められた研修・発表等へ参加し、確実にプロジェクトを完了すること（「4.年間スケジュール」を参照）

留意事項

- ✓ 2 つ以上の国籍・地域出身のメンバーがいることが望ましい。
- ✓ クラブ・サークルなど、大学に登録している学生団体の活動も申請可（通常の活動の枠を超えたプロジェクトが対象）。また、複数の学生団体が合同で行うプロジェクトも申請可能。
- ✓ 正課の授業一環として行われる活動（ゼミ含む）は不可。
- ✓ 大きなプロジェクトを対象にしており、イベント・プロジェクトの企画・運営経験がある方向けの枠組みです。（イベント・プロジェクトの企画・運営の初心者の方はプロジェクトＡからスタートすることをお勧めします）

4. 年間スケジュール

申請から結果通知まで

事前コンサルテーション・募集ガイダンス

7/8(水) 4 限	募集ガイダンス	Zoom ID: 97120839101 https://weareapu.zoom.us/j/97120839101 ズーム(要アプリ) Youtube: APU Activities Channel https://www.youtube.com/@APU_activities ※ 予約不要 ※ ガイダンス翌日以降に YouTube で視聴可能です。 YouTube 録画(7/11-
7/9（木）～ 10/19(月)16:00	事前相談受付 （希望者）	「6. 事前コンサルテーション」を参照
10/7(水)～ 10/9(木)	2025 報告 & 2026 募集質問会	時間:：3-6 限（日時決定次第、Student Portal でお知らせします） 場所 ：J 棟グリーンコモンズステージ

10/5(月)～10/20(火)10AM	申請期間	提出物：オンラインサーベイ＋企画書 「5. 申請」を参照

書類審査　結果通知

10/29(木)	1 次審査(書類審査) 結果通知	■ コアメンバー宛：Student Portal に連絡 ■ 申請内容に対する質問状を添付します(11/2(月) 9:00 までに要回答) ■ プレゼンテーションの日時・詳細も伝えます

11/3(火)～ 11/5(木)	2 次審査： 公開プレゼンテーション 審査	■ プレゼンテーション時間：1 グループ 15 分 ■ 対面、もしくはライブ配信方式 ■ 発表言語：日本語・英語のどちらか ■ 発表スライド：日本語・英語両言語、もしくは発表言語と反対言語 ■ 必須参加発表者：コアメンバー2 名

11/9(月)	結果内定通知	■ コアメンバー宛：スチューデントポータルに連絡

＜活動スケジュール＞

活動中はアウトリーチ・リサーチ・オフィスのアドバイザーと定期的にミーティングを行い、企画の質を高めます。

研修では、採用されたプロジェクトの全グループが集まり、共に企画・運営を学び、お互い刺激を与え合います！研修はコアメンバー全員、発表はコアメンバー2 名が参加する必要があります（授業は優先します）。

中間・最終研修、最終発表会は、状況に応じて実施方法を変更する場合があります。

スタートアップ研修	2026 年 11 月 11 日(水) 5 限～7 限
中間研修	2027 年 1 月中旬または 4 月開講 2 週目（水）
最終研修	2027 年 7 月下旬または 10 月上旬
最終発表会	2027 年秋セメスター開講 1 週または 2 週目

前半期：2027 年 3 月 5 日(金)迄 後半期：2027 年 8 月 30 日（月）迄 ※9 月 20 日まで支出が出る場合は、アドバイザーに相談。	■ 補助金の支払いは全書類提出後約 1 か月かかります。

※その他、必要に応じてイベントの企画書、報告書等の作成をします。

5. 申請

(1) 申請書類・方法

オンラインサーベイ　＋　企画書　＋　メンバーリスト

申請期間：2026 年 10 月 5 日(月）～10 月 20 日(火)　午前 10 時

① オンラインサーベイ

オンラインサーベイのすべての項目を入力し、企画書を添付のうえ、送信してください。

https://cw.apu.ac.jp/campusweb/SVA40D0.html?key=LNG20240731152924826485952

(10 月 5 日より入力可能)

② 企画書(自由書式) (png, jpg, pdf)　データ量が多くアップロードできない場合は、企画書のリンクを記したファイルをアップロードしてください。

知らない人が見ても

「わかりやすい」、「この企画はおもしろい！」、「この企画は実現できる！」

と思わせる、企画書を作ってください。

＜項目＞

- ✓ プロジェクトの基本情報：プロジェクト名・団体名・メンバー数
- ✓ プロジェクトの目的、目標、意義、インパクト
- ✓ 運営体制
- ✓ 企画内容詳細（いつ、どこ、なに、だれが、だれと、だれに、どのように、なぜ）
- ✓ 準備・活動スケジュール
- ✓ 効果測定（活動の成果をどのように測るのか）
- ✓ 予算表（支出・収入の詳細）
- ✓ 収入事業や協賛活動がある場合：理由と内容詳細
  ※　「7. 活動資金」をよくお読みください。
- ✓ その他、自由に情報を追加してください（協力者情報、裏付けるデータ・写真、実績など）

＜注意事項＞

- ✧ フォーマットは自由です。
- ✧ 上記項目の順番やレイアウトも自由です。
- ✧ 具体的であればあるほど、説得力が増します！
- ✧ 最大 20 ページまでに収めてください

③ メンバーリスト

https://www.apu.ac.jp/studentsupport/assets/file/extracurricular/support/type_b/TypeB_Members_List.xlsx

6. 事前コンサルテーション

小さなことから申請内容まで、アウトリーチ・リサーチ・オフィス職員に直接相談できます。
相談するほど良い申請書に仕上がっていくので、積極的に使ってください！

(1) 相談受付期間

7 月 9 日(木)～10 月 19 日(月) 16:00 月～金　10:00～16:30、火曜のみ 13:00～16:30

※可能な限り 3 開室日までに予約をしてください。

メール（project@apu.ac.jp）にて希望日時を複数及び、プロジェクトのテーマ、概要を簡単でよいので、2 － 3 行記入をし、お知らせください。

※予約なしの場合は、来た時間に相談ができない場合もありますので、ご了承ください。

※相談日までに募集要項を読んでおいてください。

(2) 相談方法：Zoom もしくは対面(A 棟 2 階アウトリーチ・リサーチ・オフィス)

(3) 相談時間：1 回約 30 分。

7. 活動資金

(1) 大学の活動資金への考え方

「プロジェクトの規模に合った予算（収入）で、適正で費用対効果の良い使い方（支出）をすること」が望ましいと考えます。企画・遂行する上でこの点を考慮してください。

(2) 補助金

① 補助上限額　　選抜プロジェクト：1 団体 50 万円まで

② 補助金の決定

・各プロジェクトの補助上限額を結果発表時にお伝えします。
・申請金額が全て承認されるとは限りませんので、ご了承下さい。
・使途詳細は、採択後、職員アドバイザーと相談しながら予算書を作成し、決めていきます。

③ 補助対象期間　　2026 年 9 月 21 日(月)～2027 年 9 月 20 日(月)

※採択は 11 月ですが、2026 年秋セメスター開始から既に始動しているプロジェクトの場合、9 月 21 日以降の支出であれば遡って補助対象となります。

④ 補助金支払時期

・原則的には団体が立替え、前半期・後半期に分けて大学が団体に払い戻しをする形です。
・高額な立替が必要で団体の負担が大きい場合や、講師謝礼など対外的に迅速な支払いが求められるものに関しては、活動状況の進行状況を判断した上で、大学が直接支払いを行う場合もあります。
・必要書類（活動報告書・経費報告書・領収書等）提出後、約 1 か月を目安に振込をします。
・活動が終了し清算書類がそろっている場合は、締切前に支払いをすることができます。
・2026 年度に使用した費用は、2027 年 3 月の指定時期までに支払い手続きをする必要があります（領収書や報告書等を提出）。年度をまたいで、2027 年度には支払うことができませんのでご注意ください。
・必要な書類が期限内に提出されない場合は、大学は補助金を一切支払いません。

⑤ 最終収支と補助金

・最終的な収支が黒字となった場合：収支がゼロになるよう、補助金を減額します。

・最終的な収支が赤字の場合：採択時に決定した補助上限金額を超えての補助は行いません。

⑥　収支記録

・全てのプロジェクト活動に関わる収支を記録し、記録を大学へ提出する必要があります。

⑦　収入事業、協賛活動

・大学に申請し、承認をされた収入事業を実施することは可能です（イベントの入場料徴収など）。

・企業等への協賛活動は、申請時の「企画書」に協賛活動をする理由と実施計画を記載し、承認を得る必要があります。

(3)　補助金の対象項目

補助対象

① 謝礼(大学の基準に基づく)
② 施設使用料
③ 印刷費　※1
④ 交通費（市内移動は原則対象外）※2
⑤ 宿泊費　※2
⑥ 備品費（1 万円未満）・材料費※3
⑦ 保険加入料
⑧ 運搬費
⑨ 参加費
⑩ 委託費
⑪ その他、事前にアウトリーチ・リサーチ・オフィスの許可を得たもの。

補助対象外

① 1 万円以上の高額備品費
② 飲食費 ※4
③ 交際費（手土産代等）
④ 通信費
⑤ 事務消耗品費
⑥ 年間契約やサブスクリプション（例：Canva Pro、Adobe、ウェブサイト使用料など）※4
⑦ その他、アウトリーチ・リサーチ・オフィスが補助対象外と判断したもの。

※1 学内の掲示板に貼るポスターはアウトリーチ・リサーチ・オフィスで印刷可能。

※2 交通費・宿泊費

- 1 泊以上の旅費（④交通費・⑤宿泊費）の支出については、全旅行日程の全てがプロジェクトのための行程であること、旅程が予めアウトリーチ・リサーチ・オフィスで承認されていること、写真付の報告書を書くことを条件とする。
- 海外に赴く場合で飛行機代を使用する場合は、旅券の 2/3 まで補助をする。ただし、上限はひとりあたり 10 万円まで。
- 交通費は(1)市内移動の交通費は原則対象としない(2)移動の基点は本学もしくは別府駅とする(3)公共交通機関の移動を原則とする

※3 備品は活動終了後、アウトリーチ・リサーチ・オフィスへ渡す。

※4 アウトリーチ・リサーチ・オフィスが企画に必要と判断したものは除く（該当のものがないと活動の主目的が達成できないなど）。

8. その他

- 大学の助言・指導に応じず、着実に活動が進められていない団体は、途中で支援を打ち切る場合があります。
- 団体の活動振りを公開審査・発表も含めて学内外に大きく広報します。積極的に協力してください。

9. 連絡先

立命館アジア太平洋大学
アウトリーチ・リサーチ・オフィス
プロジェクト B 担当
Email： project@apu.ac.jp

プロジェクト B ウェブサイト

APU ホームページ：プロジェクト B 活動紹介

過去プロジェクト(抜粋)

分野	プロジェクト名・活動内容
国際協力	「キターブ」 バビッシャ アンド ジャマルコ フォー ネパール（BAJ） ネパールの学校に図書館を贈るためのファンドレイジング活動、長期的な有効利用をしてもらうためのワークショップ等を実施。
	「太春（たいしゅん）」 みなぎプロジェクト グアテマラの水質汚染による健康被害の解決の一つとして、安全な飲料水の重要性を周知するオリエンテーションの実施、ろ過フィルターの配布とフィルターのメンテナンスの知識を共有。
	「自転車が世界を救うプロジェクト」 ハビタット APU 世界の貧困地域で家の建築を行うための資金を集めるため、九州北部を自転車で回り、ファンドレイジングを実施。道中では学校訪問も行い、世界の貧困問題についても啓蒙活動も実施。
芸術・地域交流	「レ・ミゼラブル」ミュージカルカンパニー 別府市民とともに、ミュージカルを日英両言語で開催。
	「音楽と踊りは世界のことば」 別 PU 世界で活躍する三味線奏者、APU 卒業生、APU 在校生の和楽器奏者による和楽器のセッション、別府をイメージした曲作り、多文化音楽・踊りのフェスティバルを実施。
国際関係・交流	「グローバル交渉シミュレーション競争 」 APU 国際関係学生協会 国際的な場で、夫々の立場から交渉をし、一つの物事を決定していくシミュレーションを、他の大学の参加者も招いて実施。
	「マイ・プレート・プロジェクト 」 マイ・プレート・プロジェクト 様々な国の料理を様々な国の学生と作る交流会を月 1 回開き、SNS 上で行ったレシピ共有を通して様々な大学の学生とネットワークも築いた。
社会起業準備	「社会起業家による大学ブランド構築（革製品）」 レガメ 現地で発生している革の大量投棄から生じる環境問題の改善、雇用創出、貧困問題改善のため、バングラディシュで生産される革製品を APU ブランドとして日本で販売。
環境	「Project 恵」Project Gifted 倫理的な消費を考えるアースディイベントの開催、古着の回収をして様々な国へ寄付を行った。
食ロス	「笑顔の輪を広げようプロジェクト～APU フードパントリー～」フードパントリー彩鳥 APU や亀川でフードパントリー（無償で企業等から提供された寄付食品や余剰食品、防災備蓄食品を配布する活動）とフードドライブ（家庭で不要となった食品を回収する活動）を実施。

食の多様性	「ベジらるマーケット」ベジらる ハラル、ベジタリアン、ヴィーガン等多様な食習慣についての知識を別府から広め、それらの食習慣をもつ人々が安心かつ快適に食生活を送ることができるよう啓蒙イベントを実施。観光客向けに、別府市内のハラル、ベジタリアン、ヴィーガン対応メニュー提供飲食店の MAP を作成。
ジェンダー	「=プロジェクト - 偏見や抑圧のない,誰もが自分らしく生きる社会へ!」イコール ジェンダー問題への認知を広め、ジェンダー平等への理解を深めるための講演会やキャンペーンを行った。
	「Support For Sisters」SFS 生理の貧困について考えるワークショップの開催や大学内トイレ内に生理用品設置をする活動を実施。
教育	「DUCT Project B」DUCT APU での学生生活や海外経験を通して国際性を身に着けた APU 生が「多文化共生」や「地球市民としての意識」等のテーマについて、高校性に対して交流授業を行った。
	「グリーンコモンズコンクラーベ 2024」APU ディベーターズ グリーンコモンズにてディベート大会を 3 回実施。「日本国憲法第 9 条」「大学入試における学業成績の評価」「アファーマティブアクション」を取り上げ、最終回は教員 4 名もディベートに参加。
メンタルヘルス	「Me+We Project」APU Mental Wellness (MeWe) 学生による学生のためのメンタルヘルスやウェルネスの向上を目指し、SNS での情報提供、ワークショップ・オンラインセッションの開催、フォーラムへの参加を行った。
ケースコンペティション	「International Online Case Competition」IOCC 社会問題をテーマとしたケースを様々な分野の知識を用いて説くケース大会を、他大学も含めオンラインで開催した。知識を深めるための事前学習会もシリーズで行った。
福祉	「ジェネキト」ジェネキト 老人ホームを様々な APU 学生を率いて月 1 回訪問し、国際交流を行った。

マスコミ掲載例

朝日新聞、読売新聞、西日本新聞、アルクグローバル通信、大分合同新聞、わくわくとんぼテレビ(CTB メディア)、他多数メディアで掲載されています！日本政府の省庁より表彰を受けた団体もあります。